

## 博多アイランドシティ次世代物流研究会について

### 1. 研究会の目的・経緯

当研究会は、平成22年9月に電機メーカー・家電量販店などを中心とした産官学による「臨海部物流拠点形成を図るエリアにおける次世代型物流体系の再構築に関する研究会」（正式名称）として発足しました。平成22年度には、博多港／アイランドシティを活用した家電物流効率化・環境負荷の低減を目指して、数多くの電機メーカー・家電量販店が一つの共同体となって全ての荷物配送を一体的に取り扱う「物流プラットフォーム」の可能性について検証を行いました。

平成23年3月には研究会内に民間側組織として「博多アイランドシティ次世代物流検討会」を発足し、具体的に家電物流分野での次世代型物流プラットフォーム構築を目指し会合を重ねてきました。現時点ではすでに8社の共同配送が実現し、それによる物流効率化の効果が概ね把握できたところです。

このような共同配送を行う上では、トラックの運行管理や配送荷物の管理、安全などの諸問題の解決を図る必要があり、道路行政と協働しITS技術を利用した高度な運送の「見える化」を行う今回の実証実験を実施することとなりました。

### 2. 研究会の参加機関

- |        |   |
|--------|---|
| ・行政機関  | ： 福岡市港湾局  |
| ・参画機関  | ： 国立大学法人 東京海洋大学   |
| ・協賛機関  | ： 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会   |
| ・民間事業者 | ： 量販店(株)ヤマダ電機、(株)ベスト電器、(株)コジマ：3社)<br>メーカー(NECロジスティクス(株)、エプソン販売(株)、カシオ計算機(株)、<br>キヤノンビジネスサポート(株)、三洋電機ロジスティクス(株)、<br>シャープ(株)、象印マホービン(株)、ソニーマーケティング(株)、<br>タイガー魔法瓶(株)、東芝ロジスティクス(株)、JVCケンウッドHD(株)、<br>日本ビクター(株)、パナソニックロジスティクス(株)、<br>日立アプライアンス(株)、(株)富士通パーソナルズ、<br>(株)三菱ライフネットワーク、<br>(株)バッファロー、(株)富士通ゼネラル : 18社) |
| ・事務局   | ： 三洋電機ロジスティクス(株)、イヌイ倉庫(株)   |

- |           |                            |
|-----------|----------------------------|
| 実験参加運送事業者 | ： アートバンライン株式会社 北部輸送株式会社    |
| 実験検証事業者   | ： 三洋電機ロジスティクス株式会社 凸版印刷株式会社 |
| 実験支援機関    | ： 特定非営利活動法人ITS Japan       |